

**令和元年度
第 2 回豊川市社会教育審議会
会議録**

令和元年 9 月 2 5 日（水）開催

日時：令和元年9月25日（水）午後2時50分 開会

会場：豊川市音羽文化ホール 大会議室

出席委員

会 長	細 野 文 治
副 会 長	穴 吹 富貴子
委 員	黒 谷 豪
委 員	柴 田 功 己
委 員	井 上 豊 重
委 員	中 村 詠 子
委 員	権 田 静 司
委 員	片 桐 早奈美
委 員	塚 越 京 子
委 員	藤 原 利 江
委 員	大光明 隆 見

以上11名

事務局

教育長	高 本 訓 久
教育部長	原 田 潔
教育部次長	前 田 清 彦
中央図書館長	近 藤 慎 一
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司
スポーツ課長	戸 莉 憲 司
生涯学習課長	林 弘 之
〃 課長補佐	大 茂 陽 一
〃 主事	林 雅 司

以上9名

議題

- 1 第3次豊川市生涯学習推進計画中間見直しの基本方針等について
- 2 第3次豊川市生涯学習推進計画改訂版骨子（案）について
- 3 令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート調査」（案）について
- 4 その他

(午後 2 時 5 0 分 開会)

「事務局」 皆様、大変お忙しい中をご参集いただきましてありがとうございます。定刻より少し前ですが皆様お揃いですので、ただ今より、令和元年度第 2 回社会教育審議会をはじめさせていただきます。

それでは、はじめに細野会長よりご挨拶をお願いいたします。

「会 長」(あいさつ) 5 月か 6 月頃に、市の広報に市民意識調査の結果が掲載されました。見ていて毎年感じるのですが、社会教育や生涯学習に対する市民の意識は低く、下位に留まっています。防災や経済、学校教育といった生活に直結した分野とはニーズが異なるように感じます。ですが、委員としての活動を通して感じるのは、社会教育や生涯学習こそ「絆づくり」であり、「地域活動をいかに活性化させるか」という部分に焦点を当てているものだと思います。ただその反面、活動の具体性や効果を実感するのが難しい面もあります。

昨年、一昨年の調査研究を通して感じたように、地域を強固なものにするためには社会教育が有効であり、まさに「要(かなめ)」です。委員の皆さんには、引き続き活発な議論をお願いいたします。

「事務局」 ありがとうございました。つづきまして、高本教育長よりご挨拶を申し上げます。

「教育長」(あいさつ) 会長さんのお話にもありましたように、この審議会の大きな役割の一つとして、調査研究を通じた報告書の作成にご尽力いただきまして、ありがとうございました。前回の会議以降も、それぞれのお立場で様々な場でご活躍されているかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

「事務局」 ありがとうございました。それでは、これからの議事進行につきましては、規則第 4 条に基づき、会長のもとで進めていただきたいと思います。

なお、資料を事前に送付してありますが、お持ちでない方はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、細野会長よりよろしくお願いいたします。

「会 長」 それでは、次第に従いまして、議事に入らせていただきます。議題(1)「第 3 次豊川市生涯学習推進計画中間見直しの基本方針等について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」 議題(1)「第 3 次豊川市生涯学習推進計画中間見直しの基本方針等について」資料に基づき説明

- ・ 現行の「第 3 次豊川市生涯学習推進計画」は、平成 27 年度末に策定され、平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間を計画期間とし、策定から 5 年

後の令和２年度を目安として中間見直しを行うこととしている。

- ・中間見直しに向けて、次期の社会教育委員による研究テーマを「第３次生涯学習推進計画の中間見直し」としたのは、議論や視察、ワークショップ等を経て形作られた研究成果を中間見直しに反映できるメリットがある。

1 見直しの基本方針

５年間を振り返り、実施できていない分野を分析する。なぜ実施できないのか、どうすれば実施できるのか、また実施の必要性を検討し、できるものは実施に向けて、優先的に動いていく。

今後５年間の社会動向の変化も想定し、新規に取り組むべき事業も計画に盛り込んでいくとともに、国、県や市の関連計画も反映させる。

ワークショップの中では、事業の洗い出しや新規事業についての議論を重ねていきたいと考えている。

2 ５年経過した現行計画からの課題抽出

（１）未実施事業の課題抽出

- ・未実施事業の未実施理由についての検討
- ・未実施事業の必要性の検討
- ・未実施事業の分類

（２）学びを育むきっかけづくりにおける課題抽出

（３）学びを通じた人づくりにおける課題抽出

（４）学びを生かしたまちづくりにおける課題抽出

3 課題抽出のための検証資料

（３）本日の議題（３）で議論

4 国、県や市の計画から第３次生涯学習推進計画に反映させるべきもの

5 社会教育委員による調査・研究テーマ「学びを生かしたまちづくり 家庭・学校・地域の連携」報告書（平成３１年３月）の計画への反映

本報告書内の現状と課題の分析、今後の方向性についての改善提案は、そのまま中間見直しに反映できる内容

6 解決すべき課題の決定方法

7 今後５年間の計画の中で解決すべき課題の今後の方向性について

ワークショップを重ねる中で解決方法や方向性を見定める

8 策定スケジュール

「会 長」 ただいまの説明について、ご意見等がありましたらご発言ください。

「会 長」 特にご意見もないようですので、原案どおりご承認いただいたものとしてよろしいですか。

（委員：異議なし）

「会 長」 次に議題（２）「第３次豊川市生涯学習推進計画改定版骨子（案）について」事務局より説明をお願いします。

「事務局」 議題（２）「第３次豊川市生涯学習推進計画改定版骨子（案）について」資料に基づき説明

第１章 計画の見直しにあたって：導入部分

第２章 豊川市の現状と取り巻く社会動向の変化：現状分析

第３章 現行計画の評価と検証：実績の検証とその評価、課題の抽出

第４章 課題の解決と今後の方向性と改善提案：視察やワークショップで今後の方向性や改善提案について議論した内容を記載予定

「会 長」 ただいまの説明について、ご意見等がありましたらご発言ください。

「会 長」 特にご意見もないようですので、原案どおりご承認いただいたものとしてよろしいですか。

（委員：異議なし）

「会 長」 次に、議題（３）「令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート（案）」について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」 議題（３）「令和元年度実施「豊川市の生涯学習に関する市民アンケート（案）」について」資料に基づき説明

- ・平成２７年度に策定した「第３次豊川市生涯学習推進計画」の際にも同様のアンケート調査を行っており、経年比較を行いたいため、大幅な改変はなし
- ・問１５（４）：オープンカレッジの会場のニーズを把握するため新設
- ・問２２～２４：調査研究報告「学びを生かしたまちづくり 家庭・学校・地域の連携」に関する市民の考え方を探る目的で新設
- ・調査対象は、住民基本台帳による豊川市に在住する１６才以上の男性１，０００人、女性１，０００人の計２，０００人を、地域や年齢に偏りが出ないよう無作為抽出

「会 長」 ただいまの説明について、ご意見等がありましたらご発言ください。

「委 員」 読んでみたのですが、特に１０代の回答者にとっては難しい内容だと感じます。問２１以降は特に難しい設問かと思いますが、選択肢に「わからない」が設けられていないのが気になります。また、最後に「記入漏れがないかも一度お確かめいただき、」とありますが、全設問に必ず回答しなければならないのでしょうか。答え切れないのにいい加減で答えることになるのではないかと思います。

「事務局」 言われる通りかと思います。特に難しい設問についても「わからない」という選択肢を加えることも含めて一度事務局で検討いたします。

「委員」 対象が16歳以上ということで、試しに自分の子供にこういったアンケートの依頼が来たらどうするか聞いてみました。率直な感想としては「何がかかれているかわからない。そもそも生涯学習って何？」とのことでした。10代・20代の若者にとっては身近なものではないように感じます。アンケートの表紙に生涯学習に関する説明が3行ほどで載っていますが、ページに余裕があるようであれば、この部分がもう少し詳しくなるとより分かりやすくなると思います。

「事務局」 言われる通り、導入部分で生涯学習に関してあまり触れていませんので、再度事務局で検討いたします。

「委員」 できるできないは別として、できるだけ多くの方に回答してもらうために、アンケートに回答してくれた方の内、抽選で何名かにいなりんぐズを差し上げるというのはどうでしょうか。若い世代の方が分量的に拒絶反応を起こすようであれば、スマートフォン等で簡単にできるような方法を今後検討してみても面白いと思います。

「委員」 全部読んでみて感じたのは、現在こういった施策を展開しているのかを具体的に書いてもらった方が分かりやすいのではないのでしょうか。

「事務局」 アンケートの1枚目が文字だらけです。これを見たときに拒否反応を示す方が少なからずいるのだらうとは思っています。アンケートの意義や事務局の想いを込めながら最大限文章を削ったのが今の形なので理解していただけたらと思います。

「委員」 もっとシンプルになるとより良いと思います。

「委員」 このアンケートを送付する際に、生涯学習のガイドブックやパンフレット類と一緒に送る予定はありますか。2,000人に周知できる良い機会だと思います。

「事務局」 今のところ予定していません。アンケートの作成や封入、発送作業を業者に委託していて、郵送の際の重さも決めてしまっているので追加はできないと思います。

「会長」 先ほどご意見のあった、アンケート冒頭の変更については難しいのでしょうか。

「事務局」 大幅な変更は難しいと思いますが、一度検討させてください。

「委員」 問24で「民間事業者」とありますが、10代・20代の方にはわかりづらいと思うので、何か他の言葉に置き換えられませんか。

「事務局」 民間企業の方がわかりやすいとは思いますが、推進計画の本編を作成した際には民間事業者としていた関係で合わせています。

「会長」 後ろに括弧で（民間企業）としたらどうですか。

「事務局」 修正可能ですので、そのようにします。

「委員」 問15の（4）で「6. 自宅」とあるのですが、何を想定しているのかがよくわかりません。

「事務局」 オープンカレッジに関する設問内にあるので、限定して問われているように感じられるかと思いますが、事務局としては生涯学習事業全般を想定していて、具体的にはeラーニング等です。

「委員」 であるならば、そのように説明があると良いと思います。

「会長」 それでは、他にご意見もないようですので、いただいたご意見を踏まえて修正を加えるということで、ご承認いただければと思います。

「会長」 それでは、議題（4）「その他」ですが、事務局から何かありますか。

「事務局」 特にありません。

「会長」 それではこれで、すべての議題が終了しましたので、本日の社会教育審議会を終了いたします。皆様ご協力ありがとうございました。

（午後3時40分 閉会）